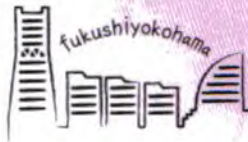




# 福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

## 私たちのまちを 子どもたちの居場所、 ふるさとに



もくじ

港北区師岡地区 師岡子ども学習会のみなさん  
(師岡町会館・1月21日撮影)  
→詳しくは特集で

★福祉の仕事：横浜型児童家庭支援センターの相談員 P4

★ボラセン情報：企業の地域貢献活動支援～地域ケアプラザで出前講座 P5

★市社協情報：第3回 よこはま地域福祉フォーラム 実施報告 P6

ここから最新号と  
バックナンバーを  
ご覧になれます



福祉よこはま 検索

# 私たちのまちを 子どもたちの居場所、 ふるさとに



## もろ おか 師岡子ども学習会 港北区

小学生が学習やレクリエーションを通じてまちの大人たちや大学生とふれあう場です。昨今、放課後や土日にも遊ぶ姿を見かけにくくなってきた子どもたちが、学校だけではなく、地域の中でいろいろな力を吸収して成長できるようにつながりを持ちたい、との願いから実現しました。

### 【活動概要】

- 内 容：①大学生ボランティア中心の学習サポート  
②工作や実験などで交流する「みんなの時間」
- 毎月第3日曜日 午後1時から4時
- 師岡町在住の小学生（取材日現在 登録25名）
- 師岡町会館2階 ● 参加費無料・利用登録制

\*1 港北区師岡地区

港北区の東側で鶴見区に隣接し、4つの自治会・町内会で構成された地区。約4,760世帯・10,500人が居住。地域ケアプラザなどの公的施設が遠いことから、師岡町会館を積極的に整備・運用してきた。平成29年には「師岡地区社協事務所」を開設している。



▲学習会ホームページ

師岡子ども学習会 検索

## 学習の様子

子どもたち自身で習いたい先生（大学生）を選び1対3～4人でグループになり、持参した課題や学習会備品のドリルなどを使い、質問しながら自習します。



▲▼時折おしゃべりしながら、真っ直ぐな眼差しで教わっています



## 「子どもたちのためにできることって？」という想いに

### 市内の18区社会福祉協議会ができること

「地域の中で「子どもたちが安心できる居場所づくり」を通じて、地域や関係機関が連携し、支援が必要な子どもたちに気づき、支えあえるネットワークをつくる」…この姿勢でサポートします。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ● ボランティア・担い手の確保 | ▶ ボランティア講座の開催、募集     |
| ● 活動財源の確保       | ▶ 助成金制度の情報提供・活用      |
| ● 活動場所の確保と設備整備  | ▶ 関係機関、施設などとの調整      |
| ● 認知度を上げ協力者を得る  | ▶ 自治会・町内会、地元企業などへの広報 |
| ● 子どもの対応などへの助言  | ▶ 専門職、機関との調整 など      |

### 港北区社協の取組



▲（後列左から）藤原職員、池田事務局長  
（前列左から）片桐職員、高須職員

師岡こども学習会の  
3つのコンセプト+4つ目の展開



学齢期の子どもを同じまちに住む大人が見守る「子どもの居場所づくり」の取組が広がりを見せています。「つながりによる見守りの目」は、子どもが家族以外に安心できる大人と出会い、自分の存在をありのまま受け止められ育っていくことや、日常に垣間見える子どもの小さなSOSに大人がいち早く気づけることにも結びつきます。

地区社会福祉協議会が住民の想いを形にした港北区師岡地区<sup>(※1)</sup>の「師岡こども学習会」を紹介します。(以下 社会福祉協議会を 社協 と略します)

## みんなの時間

大学生が企画・発案し地域スタッフとともに準備した工作や実験、ゲームなどを全員で楽しみます。子どもたちは無心に遊び、大学生は「楽しみながら教える」という新鮮な体験をしています。

▲空気砲をつくり、風船を飛ばす実験

▲大学生お手製のカルタ取りも大盛況

### 地域スタッフの声

◆まちに根差すための工夫

- ・チラシは意見を寄せ合い校正を重ね、地区内の全戸に配布した
- ・「地域向けの活動報告会」をし、大学生の想いも直接聞いてもらった
- ・ホームページで様子が分かるようにした

◆気づいたこと

- ・「師岡ひまわり」<sup>(※2)</sup>などで培ってきた人間関係も子ども・保護者の参加動機になった<sup>(※2)</sup> 平成11年から続く未就学児・保護者・高齢者の多世代交流サロン／毎週月曜開催
- ・外国籍などで言葉が通じにくい方も来てくれている
- ・見えないSOSを感じたときにも声をかけられる
- ・子どもは歳の近い大学生に、より打ち解けること

▲地区社協事務局長の坂田さん(左) 学習会代表の今村さん(右)

### 大学生ボランティアの声

◆参加のきっかけ

- ・顔見知りからの誘い(SNS、習い事、サークル仲間など)
- ・大学やアルバイト先の掲示板を見て
- ・港北区社協ボランティアセンターからの情報レター
- ・進路をふまえて小学生や地域でボランティアする人たちとの交流を希望

◆活動を通して得たこと

- ・他の大学の学生や地元の大人たちともつながることができた
- ・地域の成り立ちを知って愛着がわき、視野も知識も広がった
- ・企画を提案でき、一緒に作り上げる達成感がある

▲7つの大学から集まった仲間たち(取材日現在 登録13名)

## 18区社協が応えます



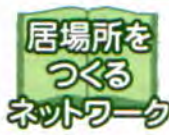
区社協広報紙で活動の様子を発信しています



◀広報紙  
(港北区社協ホームページ)  
ふくしのまど 検索



日常的に見守るまちになるきっかけづくりのために、区内高田地区では講座を開催



子どもの困難を支えたいとの想いでつながった食支援ネットワークの皆さんと、フードドライブを実施(29年10月)

師岡こども学習会には、地区担当職員を窓口とし、立ち上げ検討期から先行事例の見学や担い手の募集などに協力してきました。気軽に立ち話ができる関係性を大切に、市・区域での広報周知、学習会への出席などサポートを続けています。

また啓発やネットワークづくりに取り組むと同時に「ちょっと気になる子がいる」という声や、子どものSOSにも対応ができるよう区域での相談窓口を目指しています。



## 横浜型児童家庭支援センターの相談員

児童家庭支援センター みなとで働く

ふくなが ひろのり  
**福永 寛徳さん**に聞きました

## 子育てをする中での悩みごとを 寄り添いながらいっしょに考え サポートしていきたい

### この仕事を選んだきっかけ

▶大学の福祉学部で学び、児童養護施設での実習や学習支援ボランティア経験から熊本県の益城町にある児童養護施設に就職しました。その後、同じ法人が運営する横浜の聖母愛児園に異動し、児童家庭支援センター(以下 児家セン)みなとの開設にあたり相談員となりました。

### 日々の仕事

▶区役所や児童相談所からの紹介のほか、直接問い合わせた保護者からの相談を心理士とともに電話・来所・訪問・メールでお受けしています。保護者だけでなく子ども自身の行き詰まった想いを解きほぐしながら聞き取り、解決方法をいっしょに考えます。また、お預かりした子どもと共に過ごしたり、関係機関との調整や協力、地域交流事業の企画運営なども行います。

### 心がけていること

▶子どもが構えず安心できる関係性を築くことは、子ども自身の想いを引き出すためにも大切です。子どもの個性を大切にし、その子のことを知ることが大事だと考え、遊びや散歩などを通して良い関係性を築くようにしています。また、特に保護者には自らの力を信じて解決に向かうよう話を聞き、サポートに努めます。

### 喜び・やりがい

▶子どもの成長を間近で感じることができ、子どもに改めて向き合おうとする保護者に寄り添い、その親子の人生に関われることです。また、児家センは新しい仕組みのため、充実させていく手ごたえもあります。

### この仕事を目指す人へ

▶子どもと家庭を取り巻く環境は日々変化しており、「学び続けること」・「ソーシャルワークのセンスとバランスを磨くこと」が求められます。それにもまして、支援を通じて得られる喜びは大きいです!

### 児童家庭支援センターの相談員

子育てや家庭に関する悩みに向き合い相談・支援する専門職で、社会福祉士など児童福祉法第13条第3項の各号いずれかに該当する者。児童福祉事業の実務経験と各種福祉施策への熟知が望まれる。

### 横浜型児童家庭支援センターについて

児童福祉法第44条第2項に基づき設置され横浜市の認可を受けた児童福祉施設。児童養護施設などに併設されている施設と、独立して設置している施設とがある。現在市内に10か所あり、各区に1か所の設置を計画中。

市内在住の方を対象に、相談事業、養育家庭等支援事業、里親子・ファミリーホームなどへの支援、広く地域住民を対象にした地域交流事業、子育て短期支援事業(\*)などを行う機関。(※利用にあたっては区役所または児童相談所での利用登録が必要)

### 児童家庭支援センター みなと(中区)

市内3番目の横浜型児家センとして23年10月に開所。運営は社会福祉法人 キリスト教児童福祉会。児童養護施設「聖母愛児園」の敷地内にあり、おもに中区からの相談に対応する。

HP <http://seiboaijien.com/minato/>



◀スタッフ会議の様子  
支援方針を全体で協議・共有しています

▶地域交流事業は児家センを身近に感じていただく大切な機会です。イースターエッグづくりでは、着ぐるみのウサギに扮して場を和ませました



【問合せ】横浜市こども青少年局 こども福祉保健部 こども家庭課  
☎671-2375

### 横浜市内の福祉人材に関する求人情報

ウェルじゃん求人情報

横浜市介護人材求人情報システム

企業の地域貢献活動支援

# 地域ケアプラザで出前講座

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社  
横浜お客様サービスプラザ

企業の社会貢献活動は、その企業が持つ強みを生かすことから始まります。横浜市ボランティアセンターは、企業の「誰に、どのような形で貢献することができるだろう」という想いに応える相談窓口です。実践例として今回は、地域での振り込め詐欺の多発に悩む地域ケアプラザで金融被害防止を目的に実施した出前講座を紹介します。

地域課題

## 横浜市もえぎ野地域ケアプラザ(青葉区)から…

- 青葉区内では振り込め詐欺などによる金融被害が毎月のように発生し、被害額が大きい
- 地域の方たちにむけて、金融トラブルを未然に防ぐための働きかけができないか

企業

## SMBCコンシューマーファイナンス(株)横浜お客様サービスプラザでは

- 顧客の多様な資金ニーズに応える消費者金融サービスを提供するなかで、地域社会とのコミュニケーションを大切にしながら地域住民のニーズに合わせた社会貢献活動として、次のようなことを考えていた。
- お金に関する知識や判断する力(金融リテラシー)をよりたくさんの方に身につけていただきたい
- 全国のお客様サービスプラザで金融経済教育活動を行っている強みを生かして、金融リテラシーの習得支援に応えられる

ボランティアセンターでコーディネート ▶ 講座実施へ

講座

## 「知って撃退！金融トラブル」

「振り込め詐欺は他人事、私は大丈夫」という意識を変え、金融トラブルについて正しく理解し、被害に遭わないための講座をもえぎ野地域ケアプラザにて開催しました。(講師:SMBCコンシューマーファイナンス(株)横浜お客様サービスプラザ 河底誠さん・岡田由紀さん)



▲講座の様子(29年12月15日)

企業の工夫

- 詐欺の具体的なイメージを喚起するため、県警ホームページから実際の犯人の電話の声を利用
  - 青葉区内などの被害件数・被害額が予想以上に多く、増加傾向にある現状を伝える資料を用意
- 講座後、参加者から詐欺に遭いそうになった経験を話されたり、個別に相談をするなど、早速反応がありました。

参加した人の感想

振り込め詐欺などのトラブルが青葉区で多いことは自覚していたなか、今回の講座の話があった。講師が準備した犯人の電話の声はまるで本当のことのように聞こえて、気を付けなければならないと改めて思った。

おかげさまで、自分の周りでは金融被害に遭った方はいないと聞いている。しかし、これから自分の所属している老人会でも、今回の講座をうけて、注意喚起や勉強会を行おうと思っている。

振り込め詐欺を防ぐには、日頃から連絡を取り合うなど家族のコミュニケーションも不可欠です

講座に来られた方が、ご近所やお友達に詐欺を未然に防ぐポイントを話して下さると嬉しいです



◀講座を担当した、サービスプラザの河底誠さん(左)と岡田由紀さん(右)

ボランティアセンターから

紹介した講座の他にも、地域ケアプラザやボランティアセンターと企業が連携しながら地域課題の解決に取り組んでいます。地域課題の解決のために企業と連携してみませんか。また、企業の皆さまからの「こんなことができます」といったご提案もお受けしています。お近くの地域ケアプラザ、区ボランティアセンター(区社協内)を通じて横浜市ボランティアセンターがオーダーメイドでコーディネートします。まずはご相談ください。

「第3回 よこはま地域福祉フォーラム ～縁が織りなす支えあい～」実施報告

1,130名の方にご参加いただきました

29年12月8日(金)に3会場(県立青少年センター・横浜市教育会館・健康福祉総合センター)にて開催しました。午前の基調講演ではより多くの方にご参加いただけるよう、主会場の映像と音声をサテライト会場に同時生中継。「子どもの貧困」に対して地域でできることを考えました。また午後には、地元横浜の先進的な助けあい活動の実践事例を4つの分科会で報告しました。(※次年度も開催を予定しています)

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課 ☎201-2090



▲サテライト会場(健康福祉総合センター)で生中継される様子



▲基調講演を行った阿部 彩 教授 (首都大学東京 都市教養学部)

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。  
29年11月1日～30年1月31日  
新規受付・継続受付分

団体会員

- NPO法人 神奈川県腎友会
- 株式会社 よこはま住生活
- 関東自動車共済協同組合 神奈川県支部
- 株式会社 江戸清

個人会員

- 青木 伸久
- 山口 公晴
- 中丸 良久
- 杉山 順三郎
- 齋藤 史郎
- 内海 利行

順不同・敬称略

【問合せ】

横浜市社会福祉協議会  
総務部 総務課  
☎201-2096



みんなのきもち ありがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。

ご寄付いただきました!(障害者年記念基金) /

共に生きるふれあいバザー実行委員会

今回は、年に複数回のチャリティ活動を行い、長年にわたって継続的に金銭寄付をいただいている団体を紹介します。

団体の説明

共に生きるふれあいバザー実行委員会は、平成12年に発足し、中区肢体障害者福祉協会を中心に、中区及び横浜市内の地域作業所、福祉団体などで構成されています。身体障害者の福祉向上と社会参加を目的として、市民の方との交流を図っています。

障害者の日(12月9日)に給食サービスを行うほか、大通り公園で月1回のバザーを行い、売上の一部を、障害者年記念基金へご寄付いただいています。



◀大通り公園で行われている「共に生きるふれあいバザー」の様子

寄付者の声

昭和56年に創設された障害者年記念基金の主旨に賛同して、バザーの開催以来売上の一部を微力ながら寄付してまいりました。多くの方からの商品提供と幅広いボランティアの協力を得て毎回頑張っております。今後とも皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。  
代表 綱川 健一

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 29年10月1日～12月31日分

善意銀行 金銭寄付者

- 横浜市社会福祉センター利用者一同
- 土志田建設株式会社
- 株式会社 悠石
- 山崎 泰則
- 横浜市女性団体連絡協議会
- 宗教法人 真如苑
- 株式会社 鉄信 神奈川工事所
- 横浜冷凍株式会社

善意銀行 物品寄付者

- えほんdeみらい 高原和樹 永井みさえ
- 横浜信用金庫
- 株式会社 日立物流南関東 日立物流南関東「まごころ基金」
- 千代田化工建設株式会社

- 株式会社 アルプス技研 創業者 取締役会長 松井 利夫 代表取締役社長 今村 篤
- クライシスサポートセンターnoib 代表 濱中 洋平
- 匿名(1件)

よこはま あいあい基金寄付者

- 公益財団法人 神奈川霊園

障害者年記念基金寄付者

- 共に生きるふれあいバザー 実行委員会 代表 綱川 健一 (2件)
- ふれあいチャリティバザー 実行委員会 (3件)
- パナホーム株式会社 神奈川支社 横浜みなとみらい営業所

福祉基金寄付者

- 株式会社 アスパートナース
- 匿名(2件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- 横浜市葛が谷地域ケアプラザ 利用者一同
- 株式会社 ジェイコムイースト 横浜テレビ局(2件)
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同(3件)
- 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 (2件)
- 横浜市東永谷地域ケアプラザ
- 三上塗装工業株式会社(2件)
- 横浜市南区社会福祉協議会
- JXエンジニアリング株式会社

- 認定NPO法人 横浜移動サービス協議会
- 株式会社 バンテック(2件)
- 株式会社 バンテックセントラル(2件)
- 損保ジャパン日本興亜株式会社 横浜支店 営業第一課
- 横浜市中区社会福祉協議会
- ウイング横浜 利用者一同
- 鈴木 出
- 鈴木 聡子(2件)
- 榎岡 恵美子
- 匿名(10件)

【問合せ】

横浜市ボランティアセンター  
☎201-8620

# みんなの声



## 前号の感想

訪問看護師さんの「ありのままを見つめ医療を通じて寄り添いながらサポートしていきたい」、これからの自分の事を考えるとこんな方に巡り会えたら幸せだと思います。  
(旭区 白井 テルミさん)

介護職に就き約5年。高齢者、障がいがある方々の支援をどの様に考えていくか...と思うなか、地域の方々の協力・見守りの対策にと本誌を手に入れました。福よこには「ありがとう」がたくさんあり私も頑張ろうと思いました。  
(市内 F.I.さん)

日吉のケアプラザのデイサービスのお手伝いをさせていただいております。トレッサ横浜の障害者サポート「移動ボランティア」や中学生などの通学のお手伝いなど週1回位...?と気持ちがおこりました。大変参考になりました。この冊子をもっと広めて欲しいですね!!  
(港北区 根本 和子さん)

今号の住民支え合いマップ作りで大変関心を持ちました。私の住む街にはこの様な仕組みはなく、この活動の輪が広がっていけば多くの人が豊かになるのではないかと感じております。今後の更なる活動を応援しております。次回号を楽しみにしております。  
(市外 藤田 智一さん)

市民後見人制度があるということを知りました。日本の将来を考えると一般の後見人制度とともにこの制度が普及し認知されることが大切だと思います。福祉という言葉の重みももっと社会に浸透されることを願っています。  
(中区 田中 謙一さん)

各地のボランティア活動の様子など興味深く勉強になることも多いです。  
(都筑区 K.Hさん)

# 福よこクイズ

ご応募・ご感想  
お待ちしております!

## 「コンパクトな防犯ブザー」プレゼント!



すっきりコンパクトな大きさの防犯ブザーです。あなたの安心・安全のサポートに。

- Q1** 特集：師岡こども学習会の定例開催日は、毎月第〇日曜日です。(数字1文字)
- Q2** 福祉の仕事：今回インタビューした福永さんが働いているのは児童家庭支援センター〇〇〇。(ひらがな3文字)
- Q3** 市社協情報：第3回よこはま地域福祉フォーラムには〇〇〇〇名の方にご参加いただきました。(数字4文字)

前号186号の福よこクイズの答えは、  
Q1:25 Q2:ありのまま Q3:26 でした。  
たくさんのご応募ありがとうございました。

### 応募方法

はがき・FAX・Eメールにて右の項目をご記入のうえ下記までお送りください。  
抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。

**締め切り：**  
**30年4月30日(月)**

〒231-8482  
横浜市中区桜木町1-1  
横浜市社協  
「福よこクイズ」係

FAX: 045-201-8385  
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にごのみ利用させていただきます。

- 【項目】**
- 1) Q1~3の答え
  - 2) 郵便番号・住所
  - 3) 氏名(ふりがな)
  - 4) 年齢 5) 電話番号
  - 6) 福祉よこはまの入手方法
  - 7) 福祉よこはまの感想
  - 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



### 編集後記

本誌は私たちのまち横浜にはこんなにも支えあい、想いあう心意気にあふれた活動があることを市民の皆さんにお届けしたい一心で発行しています。そんな編集スタッフにとって、福よこクイズ解答とともに寄せてくださる本誌への感想は代えがたい宝物です。「みんなの声 前号の感想」もぜひご一読ください。  
次号 No.188 30年6月 発行予定

発行：社会福祉法人 横浜市区社会福祉協議会  
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385  
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp  
URL: http://www.yokohamashakyo.jp  
デザイン：(株)オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

### 広告

お出かけ便利帳 移動のとびら 2018年版  
800円 (税込)

## お出かけ便利帳 移動のとびら Stage III 2018年版

外出に不自由を感じている方必携!  
「お出かけ便利帳 移動のとびら Stage III」2018年版、**絶賛販売中!**  
移動サービス&ガイドヘルパーの情報満載  
各区編とセットでお買い上げの方には、「都筑区編」「磯子区編」「中・西区編」400円を200円にてご提供します♪  
※これであなたも外出が楽しくなる、横浜が好きになる!

磯子の西の海を歩こう

認定NPO法人 **横浜移動サービス協議会**  
〒231-0016 横浜市中区磯砂町3-33 セルテ11F よこはま市民共同オフィス内

☎045-212-2863  
FAX 045-212-2864 center@yokohama-ido.jp

お問い合わせはコチラまで  
横浜移動サービス **検索**

駅近！ 便利な貸会議室のご案内 ~目的や立地に応じて使い分けられる2施設~

## 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

多様な貸会議室をご用意しています

上大岡駅  
徒歩3分

4~240名まで収容可能な研修室、会議室、実習室、和室など28室を備えています。少人数の打ち合わせ、研修、式典と幅広い用途での利用ができます。

※有料・要事前予約



車いす、介護ベッドなどを備えた介護実習室

研修室・会議室のレイアウト、付帯設備の設営は当施設にて行います

詳しいご利用についてのお問合せは

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜  
TEL:847-6666 FAX:345-0799  
〒233-0002 横浜市長南区上大岡西1-6-1  
ゆめおおおかオフィスタワー内  
開館時間:9:00~21:00  
休館日:年末年始、設備点検日

ウィリング横浜 検索

## 横浜市社会福祉センター

ホール・会議室を使ってみませんか?

桜木町駅  
徒歩2分

ホールや会議室、簡単な運動ができる軽運動室の貸し出しを行っています。一般企業・団体の方もご利用いただけます。会議室は24~108名まで、ホールは306名まで収容可能です。ぜひご利用ください。

※有料・要事前予約



みなとみらい地区が一望できる会議室もあります



ホールは、研修会や講演会などの会場として人気です

詳しいご利用についてのお問合せは

横浜市社会福祉センター  
TEL:201-2060 FAX:201-6116  
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内  
開館時間:平日9:00~21:00(土日祝日は17:00まで)  
休館日:毎月最終月曜日、年末年始、設備点検日

横浜市社会福祉センター 検索

指定管理者:社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

### 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償 葬祭費用保険金 (特定感染症)	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		300万円(限度額)	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

### 年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

### 保険金をお支払いする主な例



### ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。